

障害者の生涯学習支援にかかるオーダーメイド型社会教育主事派遣事業 仙北市中央公民館6月事業「春のスポーツ体験教室」実施レポート

日 時：令和6年5月25日（土）午後2時～3時50分

会 場：県立大曲支援学校せんぼく校 体育館

参加者：44名 せんぼく校卒業生20名・在校生8名・保護者12名、指定障がい福祉サービス事業所「愛仙」3名、仙北市民1名

仙北市中央公民館では、共生社会実現のための新たな取組の場として、県立大曲支援学校せんぼく校、指定障がい福祉サービス事業所「愛仙」と協働して障害者の生涯学習講座を実施しています。今回は公民館事業としてせんぼく校の体育館を会場とし、広く一般の市民にも参加を呼びかけました。また、せんぼく校では午前中に卒業生も参加できる学校行事を開催し、卒業生がそのまま午後の事業に参加しやすいよう工夫されていました。その効果もあってか、今年度は在校生・保護者が20名も参加し、参加者層も広がっていました。

会場には6競技のブースを用意し、参加者が興味を持った競技を自由に体験できるようにしました。当センターも企画段階から参画する中で、新競技としてモルックの体験ブースを提案し、卓球バレーとともに運営を担当しました。モルックは、屋外でのプレーを想定している競技ですが、当センターでは、屋内でも競技できるよう道具の自作・改良を重ねています。また、多くの方がプレーしやすいように、状況に応じて人にルールを合わせながら実施することで、気軽に楽しんでもらうことができました。

各ブースには、仙北市教育長その他、公民館、仙北市生涯学習課、社会福祉法人秋田心くしハートネットの職員も積極的に運営に関わり、協働体制による支援が実現されました。

【スポーツ体験教室の様子】



「ビーンボウリング」

新たに加わった「モルック」と「室内グラウンドゴルフ」



「卓球バレー」



「バドミントン」



「バスケットボール」

【参加者の声】

- ・新しいモルックは、難しそうだったけどやってみたら面白かったです。またやりたいです。
- ・みんなとスポーツができて良かったです。卓球バレーが好きです。
- ・定期的に学校以外の方と交流できる機会があるのはありがたいです。次回も楽しみです。

参加者の笑顔が絶えないあっという間の2時間でしたが、閉講式において積極的に次々と感想を発表する参加者の様子からも、その充実度の高さが感じられました。